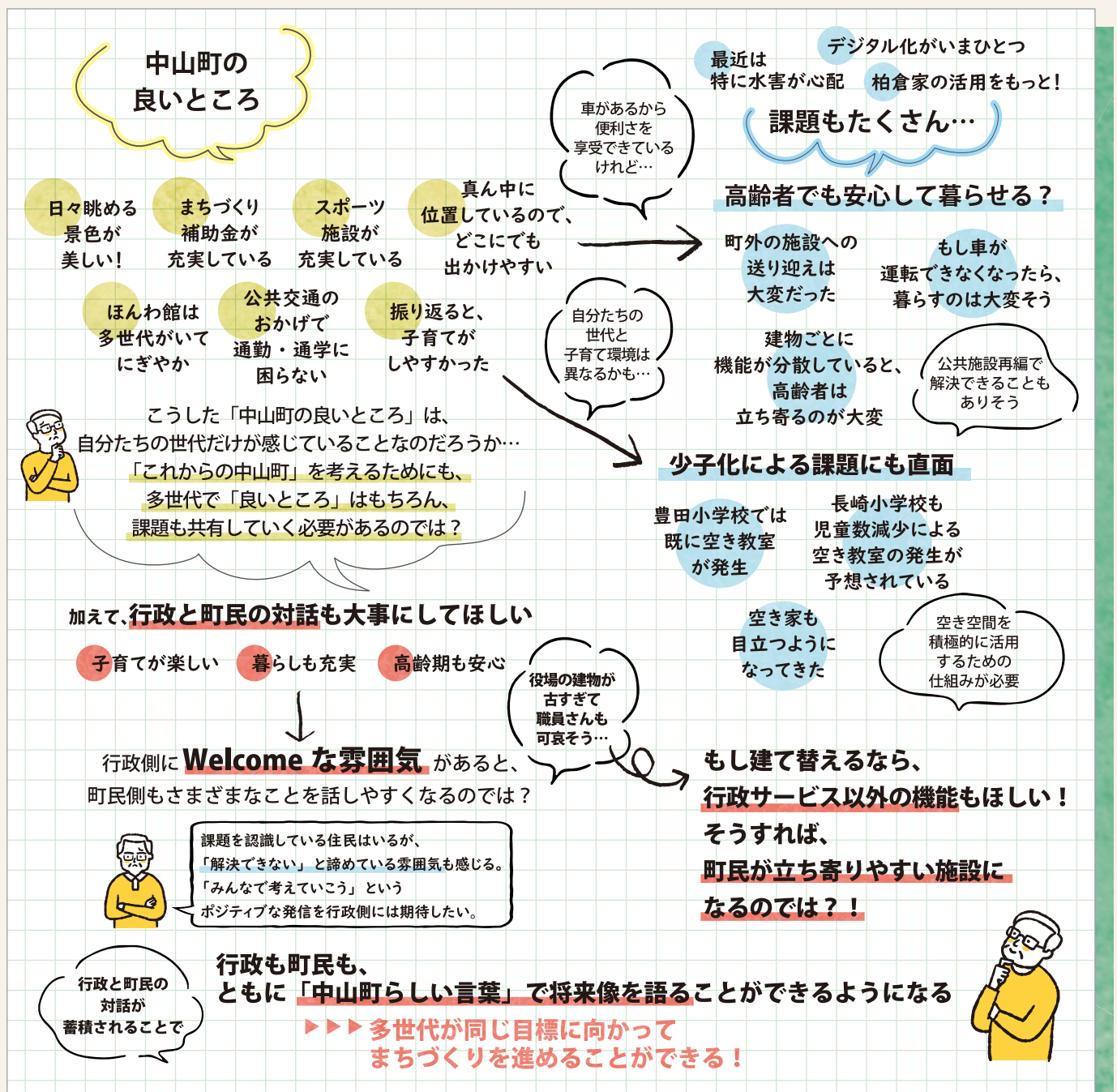


皆さんの「声」を聞かせてください！

地区の総代さん・区長さんたちの話

今回は、地区の総代さん・区長さんたちに集まっていたいただき、現在の暮らしや、これからの中山町に期待することを伺いました。地区の役員として、そして高齢期を迎えた住民として、気になることが多々あるようでした。また、中山町での居住歴が長いからこそ実感している「中山町の良さ」もたくさん聞くことができました。



1 住んでいて実感！中山町の良いところ

参加者の皆さんからは「自然環境の素晴らしさ」が語られました。最上川沿いを歩く楽しさ、月山・葉山の美しさ等、日々の暮らしの中で実感できる「中山町の良いところ」はたくさんあるようです。

気になったのは「子育て環境」です。中山町で子育てを経験された方々は「環境はとても良かった」と評価していますが、現在の子育て環

境に満足している住民は決して多くはありません*。これについては、「自分たちは子どもが多い時代の子育て。少子化の今は難しい場面があるのかも」と、今の世代が抱える悩みが共有できていないという課題がみえました。そして、公共施設再編の際に若い世代に向けた新しい魅力づくりも必要ではないかという意見が出されました。

*中山町で令和元年に実施したアンケート（15歳以上の町民1,900名を対象。回答率39.3%）において、中山町の魅力として「子育て・教育環境が整っている」と回答した町民は6.4%に留まっている。

2 空き空間を地域の財産にするための仕組みを

地区の役員をしている中で気になっていることの一つとして、「空き家が増えている」という話題が挙がりました。全国的な課題でもある「実家じまいの難しさ」は中山町でも散見されるようで、行政的な対応も必要なのではないかという指摘がありました。

公共施設としては、豊田小学校では既に空き教室が発生し、長崎小学校も児童数減少による

空き教室の発生が見込まれています。小学校は地域の財産でもあり、「いろんな活動をとおしてグループが生まれて、地域コミュニティも活気づくのではないかと、積極的に地域住民に活用が開かれることを期待する声も聞かれました。

空き家も空き教室も、このままでは持て余したままです。地域の財産として有効活用していくために、議論を重ねていく必要がありそうです。

3 介護を経験したからこそその不安

ご家族の介護を経験した方からは、「介護施設や医療関係施設を町外に頼らざるを得ない」という状況を不安視する声が聞かれました。中山町の良さの一つに「いろんな施設が近く、生活に困らない」という声も複数挙がりましたが、それは「自分で車が運転できる場合」という条件付きです。「今はまだ車の運転ができるけれども、もし運転免許を返納することになったら……」

と考えると、町内に高齢者のニーズを満たす施設があることに加えて、そこまでのアクセスの充実を図る必要があるとの意見が出されました。

これは、当事者だけでなく、支える家族にとっても負担の軽減につながります。公共施設の再編においても、機能の集約と立地を考える際のヒントになりそうです。

公共施設再配置計画については、その必要性が「第6次中山町総合発展計画」にて説明されています。以下 URL または、右記コードよりご確認ください。

◎中山町「第6次中山町総合発展計画を策定しました」

<https://www.town.nakayama.yamagata.jp/soshiki/seisaku/machidukurisuishin/214.html>

